

平成22年度
蒲郡市事務事業評価
結果報告書

= 教育委員会博物館 =

平成22年度事務事業評価表		担当	教育委員会 博物館	内線等	8013
事務事業名	562	博物館施設維持管理事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	S54.11.1		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	4.豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	文化		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	博物館の適切な管理運営
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び利用者への確かなサービスを提供する
目標 (目指す成果)	地方文化の発展に資する
そのための 手段 (手法)	適切な維持管理業務

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績(千円)	平成22年度実績(千円)	平成23年度計画(千円)
設備保守委託料 (警備含む)	3,605	3,605	3,605
光熱費	2,739	2,969	3,000
備品等施設整備費	24	44	50
修繕、その他	1,589	3,144	2,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
A 入館者1人 当たりに要す る経費	目標			206円	250円
	実績	176円	240円		25年度
B 延べ床面積 1㎡当たりに 要する経費	目標			3,693円	4,270円
	実績	3,396円	4,166円		25年度

指標の説明

A	年間維持管理経費 / 年間入館者数
B	年間維持管理経費 / 延べ床面積

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.80人	次長 課長級	0.20人	補佐級		係長級	0.50人	一般職	0.05人	非常勤	0.05人	再任用	
H22 人工計	0.80人	次長 課長級	0.20人	補佐級		係長級	0.55人	一般職		非常勤	0.05人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	7,957	9,762	8,655
	人件費	6,329	6,312	
	合計	14,286	16,074	
財源 内訳	特定財源	79	109	
	一般財源	14,207	15,965	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	文化財保護行政を含めて、本市の歴史・文化に関する拠点施設としての役割を担っている。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	博物館業務以外にも、学芸員の資質を生かしながら文化財保護行政も担当しており、効率的な運用がなされている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	各種機器の老朽化により今後修繕費の増大が見込まれる。また、常設展示の陳腐化が指摘されている。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	設備の老朽化については、教育施設全体の改修計画の中で検討していきたい。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	特に市民からの要望が強い「民俗展示室」の改修については、今後、基本(実施)計画立案の予算要望をしていきたい。

平成22年度事務事業評価表		担当	教育委員会 博物館	内線等	8013
事務事業名	563	郷土資料の収集保管及び調査研究事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	S54.11.1		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	4.豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	文化		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	郷土資料の収集とその保管及び調査研究
対象(受益者) (誰・何を)	収蔵資料を市民共通の財産として捉える
目標 (目指す成果)	資料の保存・研究を通して、本市の歴史的・文化的な歩みを正しく後世に伝える
そのための 手段 (手法)	収蔵する資料の適切な保管と調査研究

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
寄贈資料件数 *資料により1件 1点とは限らない	192件	215件	200件
保管資料件数(寄託・借用含む) *資料により1件 1点とは限らない	10,894件	11,113件	11,300件

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
A 学芸員1人 当たりの寄贈 資料件数	目標			100件	100件
	実績	96件	108件		24年度
B 寄贈(収集) 資料1件当た りの経費	目標			3,285円	3,300円
	実績	2,031円	2,367円		24年度

指標の説明

A	寄贈資料件数 / 学芸員数(非常勤含む)
B	収集のみの人件費(学芸員0.1人分) / 寄贈資料件数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.70人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.10人	一般職	0.25人	非常勤	0.25人	再任用	
H22 人工計	0.70人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.35人	一般職		非常勤	0.25人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	1,087	22,419	1,367
	人件費	3,723	4,273	
	合計	4,810	26,692	
財源 内訳	特定財源	0	21,210	
	一般財源	4,810	5,482	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	収蔵資料は、博物館の生命ともいべきものであり、今後も収集保管に努め、本市の貴重な財産として後世に伝えていきたい。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成22年度には緊急雇用基金事業を有効利用して、「古写真デジタル化」と「襖下張り文書整理」の2件を実施した。また、補助教材「がまごりの歴史」を、毎年新6年生に配付して好評を得ている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	収蔵庫が満杯状態であり、寄贈資料等の新規受入れを断る場合がある。また、調査研究の分野では他館ほどの成果は残せていない。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	一番の課題は、収蔵能力に限界が来ている点であり、予算的に増床が厳しいことから、整理保管体制の更なる見直しが必要となっている。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	現在、市史「史料目録」の編集に合わせて古文書関係の整理を行ないつつある。また、プレハブ収蔵庫内の整理も順次行なっていく。

平成22年度事務事業評価表		担当	教育委員会 博物館	内線等	8013
事務事業名	564	貸しギャラリー運営事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	S63.4.1		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	4.豊かな心と創造性を育むまちづくり		施策名	文化	
基本目標、施策に対する貢献度		2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	芸術・文化の振興
対象(受益者) (誰・何を)	市民などに作品発表の場を提供する
目標 (目指す成果)	市民が手軽に発表・観覧できる場の存在は、本市の芸術・文化の振興と発展を促す
そのための 手段 (手法)	ギャラリーの貸し出し

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
年間使用件数・ 日数 (準備日等含む)	29件 115日	32件 110日	30件 120日
年間使用料収入	363千円	316千円	300千円
年間ギャラリー 入場者数	21,045人	17,558人	18,000人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
A ギャラリー稼働率(準備日等含む)	目標			39.9%	40%
	実績	38.0%	36.5%		24年度
B ギャラリー週末(土・日曜)利用率	目標			68.0%	68%
	実績	66.7%	67.6%		24年度

指標の説明

A	ギャラリー使用日数 / 開館日数
B	ギャラリー土・日曜の使用日数 / 1年間の土・日の開館日数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.80人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.20人	一般職	0.25人	非常勤	0.25人	再任用	
H22 人工計	0.80人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.45人	一般職		非常勤	0.25人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	380	402	423
	人件費	4,520	5,056	
	合計	4,900	5,458	
財源 内訳	特定財源	363	316	
	一般財源	4,537	5,142	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	手軽な市民作品発表の場として定着している。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	美術館的要素も含めた多角的な市民サービスに貢献できている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	設置から22年が経過し、クロスの汚損が目立ってきている。利用者からも改善の要望がある。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化。 ギャラリー催事のPR不足。 原因者負担分をどこまで使用料金に反映させるか(平成15年改訂)。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	施設の老朽化については運営上支障を及ぼしそうなものから順次予算要望していく。PRについては利用者の意見も聞きつつ、より良い手段を考える。使用料金は全庁的な見直しの中で検討したい。

平成22年度事務事業評価表		担当	教育委員会 博物館	内線等	8013
事務事業名	565	企画展等開催事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	S54.11.1		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり		施策名	文化	
基本目標、施策に対する貢献度		2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	本市の歴史・文化についての普及啓発
対象(受益者) (誰・何を)	市民に、様々な資料を目にし又理解してもらう機会を設ける
目標 (目指す成果)	本市の歴史・文化を再認識してもらいながら、更なる文化の発展を目指す
そのための 手段 (手法)	美術館的な要素も念頭におきつつ、多種多様な企画展示に務める

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
開催回数	4回	4回	4回
延べ入場者数	18,826人	17,874人	18,000人
開催日数	91日	92日	83日
企画展開催費	1,000千円	579千円	878千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
A 企画展1日 当たりの入場 者数	目標			217人	210人
	実績	207人	194人		24年度
B 1企画 当たりの開催 経費	目標			220千円	260千円
	実績	250千円	145千円		26年度

指標の説明

A	企画展入場者数 / 企画展開催日数
B	企画展開催経費 / 企画展開催数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.90人	次長 課長級	0.25人	補佐級		係長級	0.10人	一般職	0.30人	非常勤	0.25人	再任用	
H22 人工計	0.90人	次長 課長級	0.25人	補佐級		係長級	0.40人	一般職		非常勤	0.25人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	1,000	579	878
	人件費	5,463	6,081	
	合計	6,463	6,660	
財源 内訳	特定財源	508	417	
	一般財源	5,955	6,243	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	企画展示は、美術館・博物館がそれぞれの館の特徴を表すため実施しているもので、本博物館としても蒲郡独自の展示を心がけながら、市民の要望も加味した展示を進めていきたい。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	他館に比較して極めて少ない予算の中で、所定の成果を上げている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	ある程度規模の大きな展示会も随時開催して、学芸員のスキルアップに結びつけたい。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	現在は、地域密着型の展示と収蔵品の有効活用を念頭に取り組んでいるが、例えば、市制周年記念のような節目の年には規模の大きな展示を計画し、市民の要望に応えたい。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	機会を捉えて外部団体とも共催したい。例えば、平成23年度には発足50周年を迎えた蒲郡ライオンズクラブと協力して、「わが家のお宝展」を実施した。費用分担することで経費の削減にも繋がる。

平成22年度事務事業評価表		担当	教育委員会 博物館	内線等	8013
事務事業名	566	文化財保護事業			
根拠法令等	文化財保護法	事業開始年度 事業期間	S30.12.15		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	4.豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	文化		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	市内に遺された文化財の保護
対象(受益者) (誰・何を)	文化財を市民共通の財産として捉える
目標 (目指す成果)	歴史的・文化的に価値の高い文化財を守り伝える
そのための 手段 (手法)	保存及び活用のため必要施策を講ずる

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
新規指定件数	3	0	0
史跡発掘・ 管理等事業	2,954千円	3,005千円	6,292千円
保存補助事業	8件 4,981千円	9件 3,551千円	9件 3,801千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
A 指定文化財 1件あたりに 要した経費	目標			95千円	90千円
	実績	96千円	87千円		25年度
B 指定文化財 件数	目標			120件	125件
	実績	120件	120件		30年度

指標の説明

A	文化財補助事業経費 / 指定文化財件数
B	指定文化財の件数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.80人	次長 課長級	0.35人	補佐級		係長級	0.10人	一般職	0.15人	非常勤	0.20人	再任用	
H22 人工計	0.80人	次長 課長級	0.35人	補佐級		係長級	0.25人	一般職		非常勤	0.20人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	11,567	10,476	11,376
	人件費	5,504	5,733	
	合計	17,071	16,209	
財源 内訳	特定財源	2,009	2,713	
	一般財源	15,062	13,496	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	文化財保護行政は、文化財保護法により教育委員会が行なうべき職務とされている。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	発掘調査などを含め、必要最低限の業務は出来ている。また、愛好会・顕彰会などの市民ボランティアの活動も徐々にではあるが、行なわれつつある。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	史跡・天然記念物の保護・活用については、他の自治体と比較して十分なものとはいえない。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	当面、史跡保存の先がけとして「上ノ郷城跡」の整備に取り組む。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	「上ノ郷城跡」については、現在、整備に向けての試掘調査を行なっている。1～2年の内には、整備計画策定委員会を発足させたい。